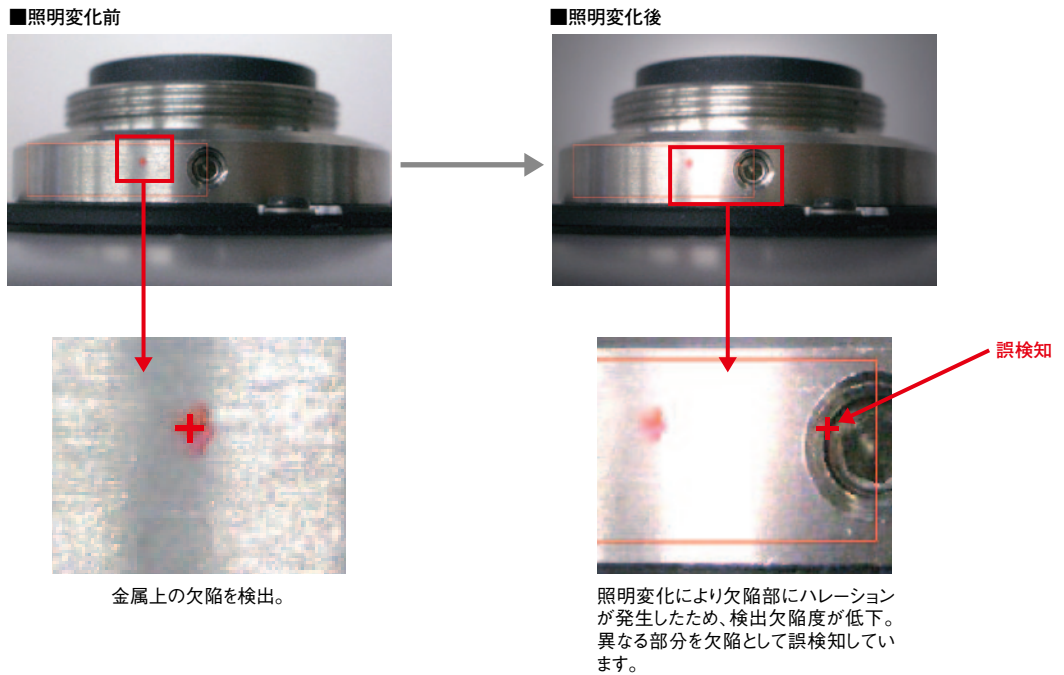


照明変化が起こりやすい対象物の画像検査

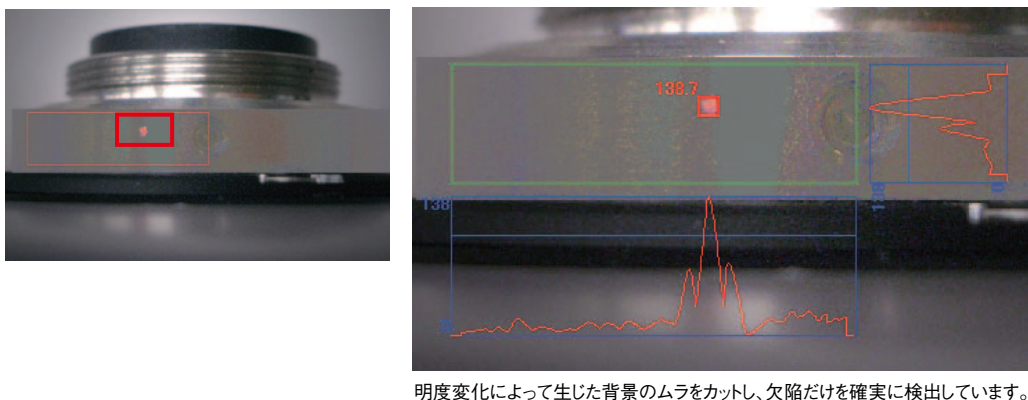
■照明変化が起こりやすい対象物上の検出が不安定な原因

金属やプラスチックなどの素材で形状が円筒形であったり、表面に凸凹がある場合、照明の角度変化や対象物が動くことにより領域内の明暗が変化してしまいます。このような対象物上の汚れを従来のカラー方式で検出すると、背景の明暗変化に影響されて検出結果が不安定になります。



■色ムラカットで解決

FZ3シリーズの処理項目の一つである「色ムラカット」を使用することで、明暗の変化によって生じた背景のムラを除去し、色相や彩度が急激に変化している箇所のみを欠陥として検出することができます。色相や彩度も含めた色情報全てを処理できるリアルカラー処理だからこそできる明暗除去の方法です。



この画像検査の課題解決事例は役立ちそうですか？
I-Webメンバーズにご登録(無料)いただくと、この事例を掲載している「技術解説書」をダウンロードいただけます。

I-Webメンバーズ に登録してダウンロード

◀ [技術解説書もくじ](#)

◀ [事例1 コントラストが低い計測対象物の画像検査](#)